

特集 日本の世界遺産

日本の世界遺産登録数は富士山を入れて17件。今年はそこに「富岡製糸場」が新たに登録。日本が誇る素晴らしい自然遺産と歴史的文化財の数々を、夏休みに訪れてみてはいかがでしょうか。

●今号のトピックス●

社長インタビュー▶ 三 愛 村上清治社長 「やればできる」

わが社・わが街▶ 佐賀ガス／佐賀県佐賀市 編

特集

日本の世界遺産



石見銀山遺跡とその文化的景観

屋久島

原爆ドーム
(広島平和記念碑)

琉球王国のグスク
及び関連遺産群

姫路城
厳島神社

古都京都の文化財
古都奈良の文化財
法隆寺地域の仏教建造物
紀伊山地の霊場と参詣道

富士山
—信仰の対象と芸術の源泉

白川郷・五箇山の
合掌造り集落

日光の社寺

平泉 — 仏国土(浄土)を
表す建築・庭園
及び考古学的遺跡群—

白神山地

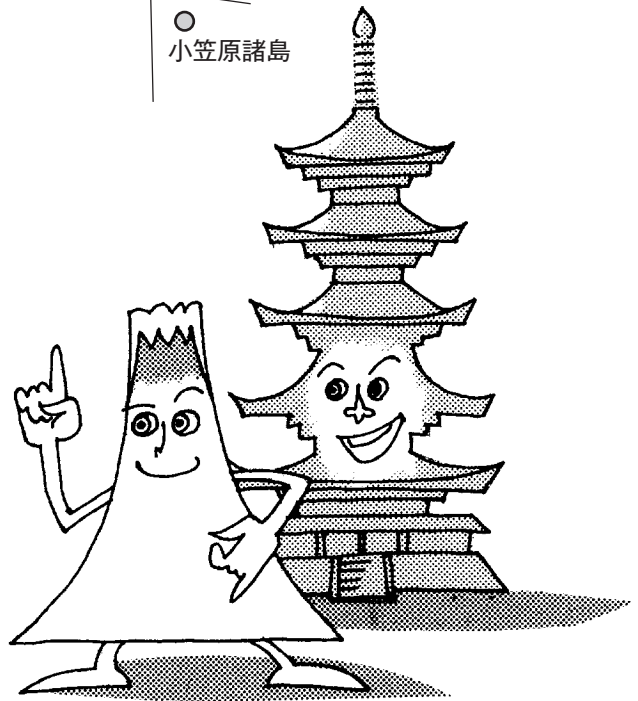
知床

○ 自然遺産
● 文化遺産

小笠原諸島

2013年、日本人の心のよりどころである「富士山」が世界文化遺産に登録されました。
そこで、今回は富士山をはじめとする日本の世界遺産のすべてを、社員の皆さんから寄せられた写真やコメントとともにご紹介します。

世界に誇る日本の自然景観と歴史的文化財の数々を通して、素晴らしい日本を再発見してください。



世界遺産とは？

未来に向けて残していかなければならない
人類共有のかけがえのない宝物

世界遺産とは、46億年の地球の歴史、あるいは数百万年の人類の歴史の中で生まれ、過去から現在へと受け継がれてきたかけがえのない宝物です。そして、今日を生きたる世界のすべての人々が共有し、未来の世代に引き継いでいくべき貴重な遺産です。

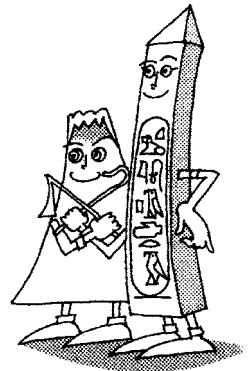
人類の歴史は、戦争の繰り返しで、その中で多くの宝物も失われていきました。

文化財や自然を保護しようという動きは第1次世界大戦以前からたびたび見られていましたが、第2次世界大戦終結後の1946年、ユネスコ(UNESCO…国連教育科学文化機関)が設立され、「武力紛争の際の文化財の保護のための条約」(54年採択、通称…ハーグ条約)をはじめ、さまざまな国際条約の整備を主導してきました。

60年代、エジプトのナイル川流域にあったヌビア遺跡をアスワンハイダムの建設による水没の危機から救うための移築と保全の活動が、ユネスコを中心に60カ国の支援と技術協力によって行われ、このような活動を支えるためにICOMOS(国際記念物遺跡会議)が設立されました。

一方、自然保護の動きとしては、48年に発足したIUCN(国際自然保護連合)の専門家たちが、自然環境の国際的な保護に関する条約を提案していました。

こうした二つの運動が合流したことで、72年のユネスコ総会で「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約(通称…世界遺産条約)」が締結されたのです。世界遺産条約は、文化遺産や自然遺産を人類共通の遺産として保護・保存していくための国際的な協力お



ヌビア遺跡のアブ・シンベル神殿

世界遺産の種類

世界遺産には三つの種類があり、いずれも顕著な普遍的価値を有する有形の不動産が対象です。

◎文化遺産

記念物、建造物群、遺跡、文化的景観など

例…インドのタージ・マハル、ドイツ連邦共和国のケルン大聖堂など

◎自然遺産

地形や地質、生態系、絶滅の恐れのある動植物の生息・生育地など

例…タンザニア連合共和国のキリマンジャロ国立公園、アメリカ合衆国のイエローストーン国立公園など

◎複合遺産

文化遺産と自然遺産の両方の価値を兼ね備えているもの

例…ギリシア共和国のメテオラ、グアテマラ共和国のティカル国立公園など

よび援助の体制を確立することを目的としています。
2013年11月現在、条約締約国は190カ国、登録件数は981件(文化遺産759件、自然遺産193件、複合遺産29件)となっています。

世界遺産に登録されるには

世界遺産に登録されるためには、①世界遺産条約を締結していること、②登録を目指す物件につき、暫定リストを作成し、ユネスコ世界遺産センターに提出してあること、③登録を目指す物件は土地と一体になった物件（不動産）であること、④登録を目指す物件

は、国の法律で確実に保護されていること、⑤登録を目指す物件は登録基準の一つ以上に当てはまり、完全性、真実性を満たしていること、という五つの条件があります。文化財の場合は、文化財保護法や国の史跡として指定されている

こと、自然遺産の場合は、自然環境保全法、自然環境保全地域に含まれていることなどが必要条件です。また、「完全性」「真実性」とは、長期間の保護制度が確立されていること、登録資産が本物もしくは歴史を持っていることを意味します。

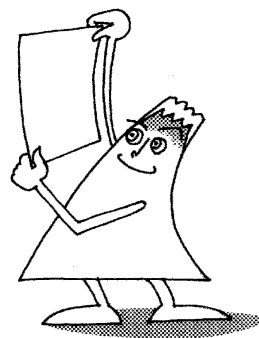
世界遺産リストに登録されるためには、「世界遺産条約履行のための作業指針」で示されている下記の登録基準のいずれか一つ以上に合致するとともに、真実性（オーセンティシティ）や完全性（インテグリティ）の条件を満たし、締約国の国内法によって、適切な保護管理体制がとられていることが必要です。

世界遺産の登録基準

- (i) 人間の創造的才能を表す傑作である。
- (ii) 建築、科学技術、記念碑、都市計画、景観設計の発展に重要な影響を与えた、ある期間にわたる価値感の交流又はある文化圏内での価値観の交流を示すものである。
- (iii) 現存するか消滅しているにかかわらず、ある文化的伝統又は文明の存在を伝承する物証として無二の存在（少なくとも希有な存在）である。
- (iv) 歴史上の重要な段階を物語る建築物、その集合体、科学技術の集合体、あるいは景観を代表する顕著な見本である。
- (v) あるひとつの文化（または複数の文化）を特徴づけるような伝統的居住形態若しくは陸上・海上の土地利用形態を代表する顕著な見本である。又は、人類と環境とのふれあいを代表する顕著な見本である（特に不可逆的な変化によりその存続が危ぶまれているもの）。
- (vi) 顕著な普遍的価値を有する出来事（行事）、生きた伝統、思想、信仰、芸術的作品、あるいは文学的作品と直接または実質的関連がある（この基準は他の基準とあわせて用いられることが望ましい）。
- (vii) 最上級の自然現象、又は、類まれな自然美・美的価値を有する地域を包含する。
- (viii) 生命進化の記録や、地形形成における重要な進行中の地質学的過程、あるいは重要な地形学的又は自然地理学的特徴といった、地球の歴史の主要な段階を代表する顕著な見本である。
- (ix) 陸上・淡水域・沿岸・海洋の生態系や動植物群集の進化、発展において、重要な進行中の生態学的過程又は生物学的過程を代表する顕著な見本である。
- (x) 学術上又は保全上顕著な普遍的価値を有する絶滅のおそれのある種の生息地など、生物多様性の生息域内保全にとって最も重要な自然の生息地を包含する。

※なお、世界遺産の登録基準は、2005年2月1日まで文化遺産と自然遺産についてそれぞれ定められていましたが、同年2月2日から上記のとおり文化遺産と自然遺産が統合された新しい登録基準に変更されました。文化遺産、自然遺産、複合遺産の区分については、上記基準(i)～(vi)で登録された物件は文化遺産、(vii)～(x)で登録された物件は自然遺産、文化遺産と自然遺産の両方の基準で登録されたものは複合遺産とします。

登録までの流れ



1 条約締約国の推薦

国内の世界遺産候補物件リスト（暫定リスト）の中から条件が整ったものを世界遺産委員会に推薦

2 専門機関による調査

文化遺産は ICOMOS
自然遺産は IUCN が調査

3 世界遺産委員会で最終審議

専門機関からの報告書を基に世界遺産リストに登録するかどうかを決定

※世界遺産委員会

条約締約国21カ国の代表から構成され、新規に世界遺産に登録される物件や拡大物件（危機にさらされている世界遺産）（危機遺産）などの登録および削除、また、登録された遺産のモニタリングや技術支援、世界遺産基金の用途などを審議、決定を行っている。

■行ったことのある日本の世界遺産

(2014年2月 本誌アンケート調べ)

順位 男性	女性	世界遺産名	回答者のコメント
1	2	法隆寺地域の仏教建造物	子供の頃、3月にある「お会式」がすごく楽しみでした。(30代女性)
2	1	古都京都の文化財	趣のある寺社、美しい清水寺、風情ある街並、古くからあるものを大切にしている。(40代男性)
2	4	日光の社寺	「見ざる言わざる聞かざる」の現物が見られて、社寺も豪華絢爛で素晴らしい。(40代女性)
2	2	古都奈良の文化財	興福寺のアシュラ様に会いに行きました。(40代女性)
5	5	富士山	何と言ってもご来光と雲海は絶景。流れ星もきれいでした。(40代女性)
6	7	厳島神社	神社本殿が素晴らしく、厳かな空気に包まれ、おだやかな時を過ごしました。(30代女性)
7	6	原爆ドーム	被爆した建物を見て怖くなりました。この現実を後世に残していくことが大事です。(30代女性)
8	8	姫路城	お城が好きですが、お城を取り巻く環境がきれい。桜とか。(40代女性)
8	11	平泉	暗い室内にある「金色堂」を見た時、この世のものとは思えぬ美しさに感動。(60代男性)
10	12	知床	クルージングで海からもカムイワッカ湯滝が見られ、自然の素晴らしさに感動。(40代男性)
10	9	白川郷・五箇山の合掌造り集落	大自然の環境が素晴らしくきれいで、お食事も最高でした。(30代女性)
10	10	琉球王国のグスク及び関連遺産群	(自分の住む)北海道とは正反対の場所、そこに魅力を感じる。(40代男性)
13	13	紀伊山地の霊場と参詣道	那智の滝は絶景です。(20代男性)
14	14	石見銀山遺跡とその文化的景観	30年前には、洞穴と簡単な碑文があっただけでしたので、隔世の感があります。(50代男性)
15	15	白神山地	原生林のまま保っているの、トレッキングをしてもアップダウンもあり楽しめる。(30代女性)
16	15	屋久島	自然の中をトレッキングするのが気持ちよくて、はまりました。(40代女性)
16	17	小笠原諸島	海がきれいです。(30代女性)

日本の世界遺産は17件

行ったことのある世界遺産の第1位は

「法隆寺地域の仏教建造物」(男性)、「古都京都の文化財」(女性)

■行ってみたい日本の世界遺産 トップ10

(2013年3月 ライフメディアリサーチバンク調べ)

1	屋久島
2	知床
3	小笠原諸島
4	厳島神社
5	琉球王国のグスク及び関連遺産群
6	姫路城
7	白川郷・五箇山の合掌造り集落
8	古都京都の文化財
9	平泉
10	白神山地

(※) 富士山は2013年6月登録のため、調査対象外

1993年に白神山地、姫路城、法隆寺地域の仏教建造物、屋久島の4物件が日本で初めて世界遺産に登録されてからちょうど20年目の昨年、新たに富士山が登録されて、日本の世界遺産は17件になりました。

三愛会誌アンケートの結果を見ると、行ったことのある日本の世界遺産ランキングの上位は修学旅行で有名な京都、奈良、日光、下位はアクセスが難しい白神山地、屋久島、小笠原諸島、そして登録からまだ年数が浅い石見銀山遺跡でした。

また、ライフメディアリサーチバンク調べによると、行ってみたいランキングの上位には、なかなか行けない屋久島、知床、小笠原諸島などが入っています。

次ページから日本の世界遺産を登録順にご紹介します。皆さんはどこへ行ってみたいですか。

自然遺産

しらかみさんち

白神山地

所在地・青森県、秋田県

1993年登録（ix）

白神山地は、青森県西部から秋田

県北西部にまたがる約13万ヘクタールにも及ぶ山岳地帯の総称で、このうち、原生的なブナ林で占められている区域1万6971ヘクタールが世界自然遺産に登録されました。

白神山地の特徴は、人為の影響をほとんど受けていない原生的なブナ天然林が東アジア最大級の規模で分布していることにあります。

また、このブナ天然林には、ブナ・ミズナラ群落、サワグルミ群落をはじめ多種多様な植物が生育し、高緯度にもかかわらず、ツキノワグマ、ニホンザル、クマゲラ、イヌワシ等をはじめ非常に多くの動物も生息、白神山地全体が森林博物館的景観を呈しています。

特に世界遺産地域は、最も良く原生状態が保たれており、その価値は、地球的に見ても極めて重要であると評価されています。

ブナ林は、水源涵養機能や地表侵食防止機能なども高いのが特徴で、近年、この多面的な機能も高く評価されるようになっていきます。

登録年の（ ）内は登録基準（6ページ表参照）

青森の旅「白神山地と十和田湖」

1993年夏、アウトドアが好きで東北へのキャンプ旅行に凝っていた私たち夫婦は、青森へ向かいました。

白神山地はちょうど日本で初めての世界遺産登録の直前だったので、かなりにぎわっていました。あいにくの天気でしたが、霧に包まれ、どこまでも続くブナ林が、とても幻想的で、強く印象に残っています。

（リコー三愛グループ安全会 女性）



白神山地のブナ林

文化遺産

ひめじじま

姫路城

所在地・兵庫県姫路市

1993年登録（i・iv）

「白鷺城」の異名を持つ姫路城は、

その美的完成度がわが国の木造建築の最高の位置にあり、世界的にも他に類のない優れたものであること、また、17世紀初頭の城郭建築の最盛期に、天守群を中心に櫓、門、土塀等の建造物や石垣、堀等の土木構築物が良好に保存され、防衛に工夫した日本独自の城郭の構造を最もよく示した城であること、が評価されて、世界遺産に登録されました。

姫路城が最初に築かれたのは鎌倉時代末期のことで、NHK大河ドラマの「黒田官兵衛」は戦国時代に姫路城主の嫡男として生まれ、自身も22歳で姫路城主になっています。

関ヶ原の戦いの後、徳川家康の女婿・池田輝政が大改修し、今日見られるような大規模な城郭が完成しました。左回りのらせん状に内曲輪、中曲輪、外曲輪が配置され、城下町を外堀が囲む「総構」が特徴です。

また、「西の丸」は、本田忠政の嫡男・忠刻と家康の孫・千姫の居館として千姫の化粧料10万石で1618年に造営した建造物群です。



姫路城全景

2009年より、平成の大修理のため囲いに覆われていた大天守最上層が、4月下旬に約3年半ぶりに姿を現しました。今年度中に修理を終え、来年3月27日から一般公開が再開される予定です。

文化遺産

法隆寺地域の仏教建造物

法隆寺、法起寺

所在地…奈良県生駒郡斑鳩町

1993年登録（i・ii・iv・vi）

法隆寺地域は「世界最古の木造建築物を有すること」が評価されて、世界遺産に登録されました。

法隆寺は推古天皇と厩戸皇子（聖徳太子）によって7世紀初期に創建が始まり、現在の伽藍は西院および東院と子院群で構成されています。

その敷地は東京ドームが4個入るほど広大で、1400年にわたり、多くの人々の信仰と献身的な努力の下に大修理や小修理が繰り返し行われた結果、世界最古の木造建築群が今に残されました。

西院の主要建物である金堂・五重塔・中門・回廊は、中国や朝鮮にも残存しない初期の仏教建築様式であり、両院の他の主要建物は主に8世紀から13世紀に建てられたものです。両院の周囲にある子院は12世紀頃に建築が始まり、次第にその数を増やしました。17世紀から18世紀にかけての建物も多く、日本の仏教寺院建築の変遷をうかがうことのできる文化遺産が集約されている地域です。

法起寺は聖徳太子建立七大寺の一

つに数えられることもありすが、寺の完成は太子が没して数十年後のことです。創建当時のものとしては、706年に完成した日本最古の三重塔のみが残っています。



法隆寺中門までの石畳



八角円堂の「夢殿」

自然遺産

屋久島

所在地…鹿児島県屋久島町

1993年登録（vii・ix）

屋久島はほぼ全域が山地で、ほとんどが花崗岩で形成されています。温暖湿潤気候に属していますが、標高差によって平地と山頂の気温がまるで違い、山頂付近の年間平均気温は約5度となっています。その気温差が垂直分布に強い影響を与えており、屋久島には亜寒帯から亜熱帯の植物が自生しており、狭い島の中に日本の縮図とされる植生を可能にしました。

屋久島には世界でここにしかない固有種47種が確認されており、過去に陸地とつながったことのある島でこれほど多くの固有種を抱えるところは類を見ません。

遺産登録地は島全体の約20%にあたる1万747ヘクタールで、登録にあたっては「日本の自然景観の重要な要素であり、固有植物であるスギの優れた生育地である」、「各地で急激に減少している照葉樹林が原生状態で残されている」、「東アジアの南から北の植物へと、垂直分布として変化する植生が見られる」などが評価されました。



縄文杉



もののけの森

文化遺産

古都京都の文化財

こときょうと ふんかざい
賀茂別雷神社、賀茂御祖神社、教王護国寺、清水寺、延暦寺、醍醐寺、仁和寺、平等院、宇治上神社、高山寺、西芳寺、天龍寺、鹿苑寺、慈照寺、龍安寺、本願寺、二条城
所在地：京都府京都市・宇治市、滋賀県大津市 1994年登録（ii・iv）



「夕暮れ時の清水寺」 (2012.12.22 撮影)

海外赴任の話があがっていて、「しばらく日本を離れるとして、どこに行きたいだろう?」と家内と相談した結果、家族で京都に行きました。

清水寺も龍安寺も高校時代に修学旅行で訪れていたのですが、清水寺は「メジャーどころは押さえておきたい」、龍安寺は「吾唯知足」が印象深く、石庭も含めてぜひまた見たい」という軽い気持ちで訪れましたが、大人になって見る清水寺の大きさと神々しさに感動し、龍安寺の美しさにも深く感じ入った訪問でした。

結局、「高校時代も印象深かったところに、大人になって再訪したらどんな気持ちになるだろう」の検証だったのかもしれませんが（笑）

（リコー 小林一則）

京都は794年から1868年にかけて天皇が居所を置いた日本の首都であり、武家政権が政治の中心を鎌倉と江戸に移した時期以外、文化・経済・政治の中心として繁栄しました。

「日本の宝」のような地域なのです。特に、世界遺産に登録された遺産は、「平安時代から江戸時代までの建造物群は、各時代を代表する建築様式、庭園様式、文化的背景を今に伝えていること」「それらの建造物群は、日本全国の建築様式、庭園様式の発展に大きな影響を及ぼした」とが評価されました。



「白川郷」 (2011.7.9 撮影)

リコーの中国の生産会社である Ricoh Components & Products (Shenzhen)(RCP) から日本へ出張に来た方たちに、昔ながらの美しい日本の風景、生活状況を紹介するため案内しました。

澄んだ空気でのリフレッシュができ、さわやかな気持ちになりました。

（リコーエレメックス 小笠原 務）



岐阜県と富山県にまたがる庄川沿いに点在する集落の中でも、3集落は豊かな自然環境とともに、かつての集落景観を今に保っています。かやぶきの合掌造りの大きな屋根の下は3〜5階で、1階は居室空間、2階以上は屋根裏部屋の寝室あるいは養蚕などを行う作業空間となっています。1棟には数十人からなる大家族が住むのが一般的でした。山に囲まれ、米も十分に作るこ

ができない中で、力を合わせて生きるために大家族が成立、また、「結」と呼ばれる住民の相互扶助組織があり、屋根の吹き替えなどの家屋維持を共同で行う慣習もありました。白川郷と五箇山は人里離れた、陸の孤島というべき長い時代があり、それがこの土地に独特の文化を育みました。その象徴である合掌造りの家々が、今、日本の原風景のように人々を引きつけているのです。

文化遺産

白川郷・五箇山の合掌造り集落

しらかわこう ごかやま がっしやうつく しゅうらく
荻町集落、菅沼集落、相倉集落の3集落群
所在地：岐阜県、富山県 1995年登録（iv・v）

文化遺産

厳島神社
いつくしまじんじや

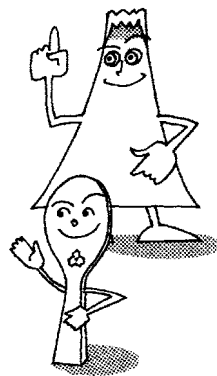
厳島神社、弥山原始林

所在地…広島県廿日市市

1996年登録 (i・ii・iv・vi)

厳島神社は瀬戸内海の島を背後にして、その入江の海の中に木造建築が建ち並び日本でも珍しい神社です。古くから「島そのもの」がご神体として信仰され、地方豪族によって創建された神社は、12世紀に平清盛によって現在ののような寝殿造りの威容になったといわれています。海上に建設されたのは、島自体がご神体のため、陸地に社殿を建造するのを避けたからなどの説があります。

平氏滅亡後は政情が乱れるにつれて荒廃しましたが、戦国時代以降は、厳島の戦いなどを経て、中国地方を制覇した毛利元就による庇護を受けて再興し、名声を高めていきました。また、明治時代には神仏分離令によって危機を迎えましたが、当時の人々の尽力もあって、海に建つ木造建築という過酷な環境にありながら、古い様式を今日に伝えています。世界遺産登録にあたっては、「海上に建ち並び建造物群と背後の弥山原始林（弥山は神体山）であるため、手つかずの原生林が残っている。山



海上に浮かぶ厳島神社

頂付近には弘法大師が開いたという弥山本堂など堂宇が建立されている」とが一体となった独創的な神社建築であること」「建造物の多くが平安時代の寝殿造りの特徴を持つ建築であること」が評価されました。

文化遺産

原爆ドーム
げんぱく
(広島平和記念碑)
ひろしまへいわけいねんひ

所在地…広島県広島市

1996年登録 (vi)

1945年8月6日、原子爆弾が広島市の上空で炸裂し、一瞬にして約8万人を即死させました。爆心地から半径2キロメートル以内がほぼ壊滅したにもかかわらず、奇跡的に残されたのが原爆ドームです。

原爆ドームは大正4年に建設された広島県物産陳列館でした。建物はれんがと鉄筋コンクリートで造られた3階建てで、正面中央階段室は5階建てドームとし、一部に地階を有していました。

建物は熱線と爆風を浴びて全焼しましたが、爆風が上方からほとんど垂直に動いたため、ドーム中心部は崩壊を免れたと考えられています。

戦後、建物の保存については是非が分かれ、議論は20年以上続きましたが、1966年、広島市は永久保存を決定しました。

人類史上初の核兵器による惨禍を忘れないために、原爆ドームを世界遺産に登録しようと市民一丸となって運動を展開、約165万人もの署名を集めて国会に提出され、世界遺産への登録が実現したのです。

世界遺産リストに「負の遺産」というカテゴリーはありませんが、核兵器の使用や奴隷制度、ホロコーストなど、人類にとって二度と起こしてはならない悲劇であり、平和を訴えることを登録理由とした世界遺産は一般的に「負の遺産」と言われています。



「広島平和記念碑・原爆ドーム」
(2013.8撮影)

1945年8月6日、広島に原子爆弾が投下されました。この出来事を風化させることなく、二度と同じ悲劇が起こらないようにという願いを込めて、広島県に住む私たちは、時折、原爆ドームを訪れています。
(コカ・コーラウエスト 古賀明子)

文化遺産

ことなら ぶんかざい 古都奈良の文化財

東大寺、興福寺、春日大社、元興寺、薬師寺、唐招提寺、平城宮跡、春日山原始林
所在地…奈良県奈良市

1998年登録 (ii・iii・iv・vi)

奈良は710年、唐の長安を規範に日本の首都・平城京として建設され、その後74年間、政治、経済の中心地であり、同時代に花開いた天平文化の中心地でありました。また、都が京都に移った後も、大社寺を中心とした地域が宗教都市として存続して、繁栄しました。

世界遺産に登録されている8物件は、個別に評価されたのではなく、全体で「奈良時代の寺院建築様式を今に伝える建造物群であること」「それらから8世紀の中国、朝鮮半島との文化的交流がうかがえること」「平城宮跡からは奈良時代の都である平城京の様子を確認できること」「日本独自の神道思想や仏教文化が育まれ、それが現代に息づいていること」が評価されました。

平城宮は天皇の居所であり、当時の宮殿や役所などの木造建築の遺構は今でも地下に良好に保存されています。

薬師寺、唐招提寺には8世紀の日本古代建物が残っており、これらは



東大寺大仏殿



薬師寺東塔

当時の仏教寺院の伽藍を代表するものです。東大寺、興福寺は、主要な部分については兵火によって創建当初のものが失われましたが、広大な境内地の中には8世紀の建物の一部が残っています。

文化遺産

にっこう しゃじ 日光の社寺

二荒山神社、東照宮、輪王寺
所在地…栃木県日光市

1999年登録 (i・iv・vi)

二荒山神社と東照宮、輪王寺を合わせて「2社1寺」と称されますが、17世紀に建立された東照宮に対し、二荒山神社と輪王寺は1200年以上の歴史を持っています。

日光山は、奈良時代の末、勝道上人によって開山され、四本龍寺や二荒山（男体山）の神を祭る祠を建てました。これが輪王寺、二荒山神社の始まりです。以来、日光山は山岳信仰の聖地として、また神道と仏教を融合させた神仏習合の霊場として重要な拠点となりました。

鎌倉時代に入ると、源頼朝をはじめ関東の武士からも厚く崇拝され、500近くの寺院が建つ日光山は、関東の比叡山ともいわれました。

戦国時代には一時的に衰退しますが、1616年に徳川家康の霊廟として東照宮が造営されて、徳川幕府の聖地となりました。53年には3代将軍家光の霊廟である輪王寺大猷院が造営されました。

東照宮の建築により、日本の代表的な神社建築様式である「権現造」



「半月山から見た男体山と中禅寺湖」

(2012.5.5撮影)

目の前の、手を伸ばせば届くような男体山の麓に二荒山神社があります。そして、眼下に広がる中禅寺湖。左奥には戦場ヶ原まで見渡せる眺望に、圧倒的な自然の素晴らしさと迫力を感じました。

(三愛ジュエリー 友田 健)

が完成したといわれ、人物・動物・植物などの多数の彫刻、漆塗りや彩色、飾り金具などにも当時の最高水準の技術が用いられています。

文化遺産

琉球王国のグスク及び関連遺産群

琉球王国のグスク及び関連遺産群
 玉陵、園比屋武御嶽石門、今帰仁城跡、座喜味城跡、勝連城跡、中城城跡、
 斎場御嶽、首里城跡、識名園

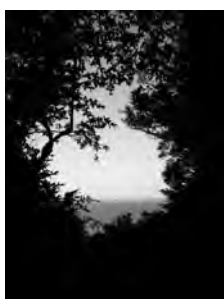
所在地：沖縄県那覇市、うるま市他 2000年登録（ii・iii・vi）

沖縄本島は、14世紀中ごろには3王国が分立していましたが、15世紀前半に統一され、首里城を拠点とした「琉球王国」が成立しました。

それ以降、450年もの間、中国・朝鮮・日本・東南アジア諸国との交易を経済的な基盤とし、当時の日本の文化とは異なった独特の文化を築いてきました。その特色を如実に伝えるのが、グスク（城）です。

今帰仁城、座喜味城、勝連城、中城城はいずれも三國鼎立期から琉球王国成立期にかけて築かれた城で、首里城は琉球王がその居所と政治機関を設置するために築いたものです。さらに、王室関係の遺跡として玉陵、識名園（別邸）が残り、王国文化をうかがうことができます。

琉球王国の成立の過程と今日まで続く国際色豊かな文化を物語るとして世界遺産に登録された、三山時代から琉球王国時代にかけて建築された九つの史跡は、沖縄が歩んできた独自の歴史・文化を今に伝えます。



「斎場御嶽・三子理」

（2009.8.14撮影）

パワースポットと言われる2枚の岩壁に囲まれた三角の空間は神秘的。その先は拝所（うがんじゅ）。そこから見た景色（海と島）はとも美しく感動しました。

（リコーインダストリー 女性）

文化遺産

紀伊山地の霊場と参詣道

紀伊山地の霊場と参詣道
 霊場：吉野・大峯、熊野三山、高野山
 参詣道：大峯奥駈道、熊野参詣道、高野山町石道

所在地：三重県、奈良県、和歌山県 2004年登録（ii・iii・iv・vi）

紀伊山地は太古の昔から自然信仰の精神を育んだ地で、6世紀に仏教が伝来して以降、紀伊山地は真言密教をはじめとする山岳修行の場となりました。また、9～10世紀に広く流布した「神仏習合思想」の聖地としても信仰を集めていました。

さらに、10～11世紀頃の日本では「末法思想」が流行し、死後に阿弥陀仏の居所である極楽浄土に往生することを願う「浄土宗」が広まって、紀伊山地は仏教諸尊の浄土があると信じられるようになりました。

この地方の神聖性がことさらに重要視されるようになった背景には、深い山々が南の海に迫るといった独特の地形や、両者が織り成す対照的な景観構成が大きく影響したと考えられています。

紀伊山地の三つの霊場は、それぞれ異なる信仰の霊場でしたが、それぞれが参詣道で結ばれ、日本古来からの神道と仏教が融合した神仏習合の文化が育まれてきました。



熊野古道



高野山

「道」が世界遺産として登録されたのは、スペイン・フランスにまたがる巡礼道「サンティアゴ・デ・コンポステラへの道」に次いで2件目です。

自然遺産

知床

知床半島中部から先端部にかけた陸域とその周辺海域

所在地…北海道斜里町、羅臼

2005年登録 (ix・x)

北海道の東部に突出した知床半島は、アイヌ語の「シリエトク」(地の果て)からその名が付きましました。明治期の開拓団を拒むほどの厳しい自然環境が、「日本最後の秘境」とも称される豊かな自然を今日まで残してきましたといえます。

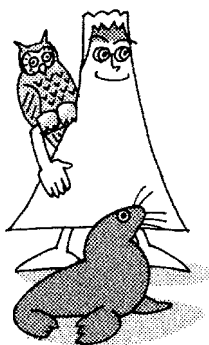
知床は流水が接岸する世界最南端の地で、海と川と森が一体となった独自の自然体系を持っていることから、ミズナラ、トドマツ、エゾマツなどの多様な植物、ヒグマ、キタキツネなどのほ乳類、サケ、マスなどの魚類、トドやアザラシなどの大型ほ乳類などが生息しています。また、国際的に希少種とされているシマフクロウやオジロワシなどの生息地であり、オオワシなどの渡り鳥の越冬地にもなっています。流水の季節には「流水の天使」とも呼ばれるクリネオもやっけます。

このように、海から陸へとつながる生態系が分かりやすく見られること、希少な動植物の生育地となっていることなどが評価されました。



「知床五湖」

(2012.9.8 撮影)
関係先との懇親旅行で行きました。少し暑かったですが、空の青さ、鏡のような湖面に映る山々、すっきりした空気、旅行として最高の知床五湖でした。
(三愛石油 林 秀格)



文化遺産

石見銀山遺跡とその文化的景観

銀鉱山跡と鉱山町・銀山柵内、代官所跡、矢湊城跡、矢筈城跡、岩見城跡など
街道…石見銀山街道、瀬戸浦道など
港と港町…瀬戸浦、温泉津、沖泊など

所在地…島根県大田市

2007年登録 (ii・iii・v)

石見銀山遺跡は日本海に面する島根県のほぼ中央に位置し、石見銀の採掘・精錬から運搬・積み出しに至る鉱山開発の総体を表す「銀鉱山跡と鉱山町」「港と港町」およびこれらをつなぐ「街道」から成り立っています。

この遺跡は、東西世界の文物交流および文明交流の物証であり、伝統的技術による銀生産を証明する考古学的遺跡および銀鉱山に関わる土地利用の総体を表す文化的景観としての価値を持っています。

石見銀山では、16〜17世紀に大量の銀が採掘されました。特に、17世紀前半の全盛期には年間約1万貫(約38トン)と推定され、世界の産出銀の3分の1を占めた日本銀のかなりの部分を産出していました。

産出された銀は、最初は中国や朝鮮、後にポルトガル人などの南蛮商人との取引に使用されました。

世界遺産に登録されている鉱山遺跡は、欧州や中南米に15カ所ありま

すが、アジアにはありませんでした。また、産業遺産は18世紀末の産業革命以降の遺跡が多い中、産業革命前の鉱山遺跡としては稀有の遺産といえます。



石見銀山 龍源寺間歩

自然遺産

小笠原諸島

おがさわらしょと

小笠原群島の陸域(父島及び母島の一部を除く)、火山列島(北硫黄島と南硫黄島)の陸域、孤立島(西之島)の陸域、父島周辺海域の一部

所在地: 東京都小笠原村

2011年登録 (ix)

小笠原諸島は、島の誕生以来、一度も他の島や大陸と接したことのない海洋島のため、島にたどり着いた生物が独自に進化を遂げ、特異な生態系を有しています。このことが評価されて、自然遺産に登録されました。同じ世界遺産のガラパゴス諸島に合せて「東洋のガラパゴス」と呼ばれることもあります。

また、父島や兄島では、乾燥した気候に合わせて、葉の形を変えるなどの進化をした固有の植物たちが生息している「乾性低木林」と呼ばれる背の低い林がたくさん広がっています。

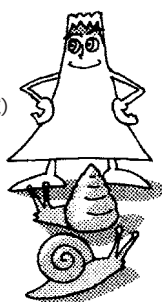
島に生息する生物の多くが固有種である小笠原諸島ですが、中でも飛び抜けて割合の高いのが陸産貝類(カタツムリの仲間)です。もともと同じ種類の生き物が環境の違いによってそこに適した形や色へと変化し、多系統に分かれることを「適応拡散」といいます。小笠原のカタツムリのうち、カタマイマイというグループは木の上で暮らすもの、土の上で暮らすものなど、適応拡散によって20以上の種類に進化しており、化石(貝殻)や今生きている種類を比較することにより、進化の歴史が分かります。



ハハジメメグロ (父島では絶滅)



オガサワラオオコウモリ



1000年以上前に絶滅したといわれるヒロベソカタマイマイの貝殻(半化石) (南島)

文化遺産

平泉—仏国土(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群—

ひらいずみ

ぶつこくど じょうど

あらわ

けんちく ていえんおよ こうこがくてきい せきぐん

中尊寺、毛越寺、観自在王院跡、無量光院跡、金鶏山

所在地: 岩手県平泉町

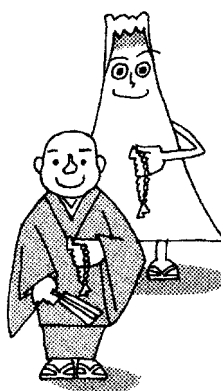
2011年登録 (ii・vi)

平泉は、11世紀から12世紀の日本列島北部領域において、仏教に基づく理想世界の実現を目指して造営された政治・行政上の拠点です。

その拠点に存在する四つの庭園は、奥州藤原氏により、現世における仏国土(浄土)の象徴的な表現、つまり池泉・樹林・金鶏山頂と関連して仏堂を周到に配置することにより実体化した理想郷の光景として造営されました。

中尊寺は奥州藤原氏の初代清衡が12世紀初めから四半世紀をかけて造営した寺院です。金色堂は、阿弥陀堂建築の霊廟で、本尊阿弥陀如来像の両脇に観音菩薩と勢至菩薩という阿弥陀三尊、その両外側に地藏尊が全部で6体あり、最前列には増長天と持国天の二天がこの仏界を守護しています。

そして、須弥壇内部には藤原氏4代の遺体並びに首級が安置されており、平泉の政治のみならず、精神的なよりどころにもなっていました。なお、「平泉の文化遺産」について



中尊寺 金色堂

は5資産に加え他の文化遺産についての拡張登録を目指すことが決定、国内暫定リストに記載されました。

文化遺産

富士山 信仰の対象と芸術の源泉

富士山域（山頂の信仰遺跡群、登山道など）、富士山本宮浅間大社・山宮浅間神社など7の浅間神社、山中湖、河口湖、忍野八海、船津胎内樹型、三保松原など25遺産

所在地：山梨県、静岡県

2013年登録（Ⅲ・Ⅵ）



「富士山」 (2012.11.3 撮影)
富士山の紅葉が見たくて、5合目まで車で行きました。雲が多い日でしたが、5合目まで行くと快晴！とてもきれいな富士山を見ることができました。（リコー 女性）



「山梨県の上空から」 (2013.5.3 7:00 頃 飛行機の中から撮影)
いつも福岡行きの飛行機に乗るときは左窓側後部座席を予約します。羽田を飛び立って15分くらいで富士山を見ることができるからです。天候によって全く見えないときの方が多く、この日も雲があったのですが、朝日に輝く雪景色の山頂が見えたときはラッキーだと思いました。
富士山にはまだ行ったことがありませんが、全体を見渡せる離れた場所から見るのが一番美しいとも思っています。（リコー 松本一幸）



「元旦の富士山」 (2013.1.16 30 頃 撮影)
初日の出を見に出掛けた時の一枚で、雪化粧をした雄大な富士山が、日の出によって光り輝いていました。（沼津市にて）（リコー 男性）

神聖で荘厳な姿の富士山は、古来「信仰の対象」であり、山頂への登拝や富士五湖など山麓の霊地への巡礼を通じて、富士山を居所とする神仏の霊力を獲得し、けがれを落とし生まれ変わることを求める富士山信仰が育まれてきました。

また、海外の画家たちに影響を与えた葛飾北斎の『富嶽三十六景』をはじめ多くの有名絵画に描かれた富士山は

土山は「芸術の源泉」でもあり、やがて日本および日本文化の象徴としての意味を持つようになりました。このような文化的価値が認められ、富士山は世界文化遺産として認められました。

富士山域は「信仰の対象」と「芸術の源泉」の価値に関して特に重要な標高1500メートル以上の範囲で、山頂の信仰遺跡群、登山道、北口本宮

富士浅間神社、西湖、精進湖、本栖湖など9件の構成要素からなります。浅間神社は、噴火（奈良・平安時代）を繰り返す神そのものであった富士山を崇め、世の中の平和を守るための神社として建立されたのが始まりです。現在も、富士山に登る前に安全を祈願する登山者たちが訪れています。

忍野八海はその名の通り、富士山の伏流水を水源とする八つの湧水池があります。富士山信仰に関わる巡拝地として、富士登山を行う道者たちは池の澄み切った水だけがけがれをはらいました。

三保松原は多くの和歌、謡曲『羽



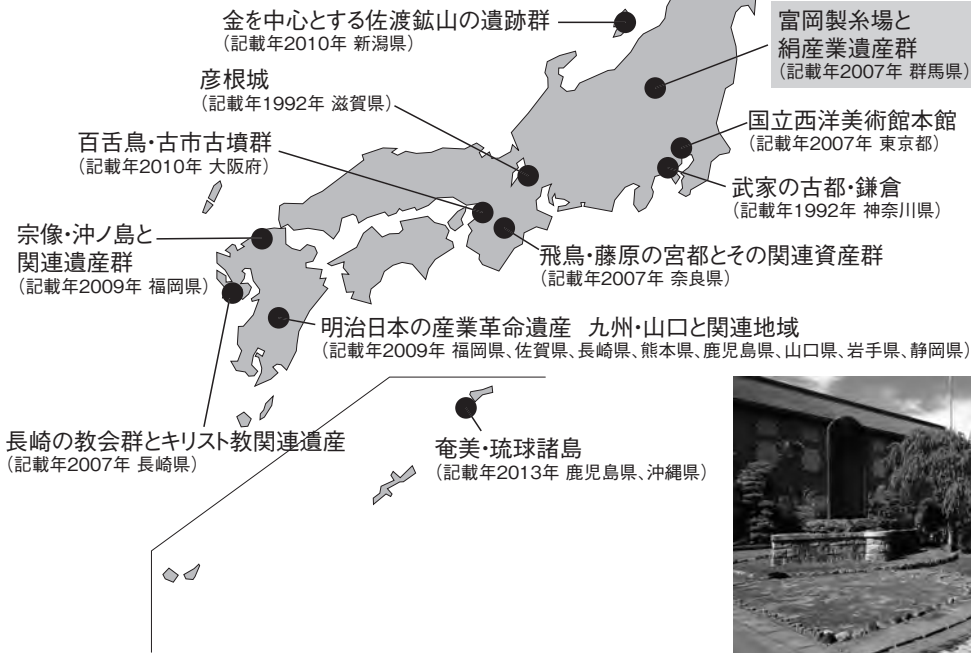
衣」の舞台となった景勝地で、三保松原越しに富士山を望む構図が富士山画の典型となり、多くの芸術作品を通して、広く知られるようになりました。

世界遺産登録を目指す候補地 6月、「富岡製糸場」世界遺産登録へ

4月26日、「富岡製糸場と絹産業遺産群」についてICOMOSが登録をユネスコに勧告したと発表されました。6月15日からカタールのドーハで開かれる世界遺産委員会で正式決定される見通しです。本誌が発行される頃、地元は喜びでわき上がっていることでしょう。

富岡製糸場は明治政府が、主要輸出品としての生糸の品質向上と増産を目指して1872年に設立したもので、現在も木骨レンガ造りの繭倉庫や操糸場などの生産設備がほぼ完全に残っています。

5月末日現在、日本が世界遺産登録を目指して世界遺産委員会に提出している「暫定リスト」は「富岡製糸場」と拡張登録を目指す「平泉」を含めて13件になりました。



旧富岡製糸場

「日本の世界遺産」、いかがでしたか。昨年の富士山に続いて、今年は富岡製糸場の登録が決定し、ワクワク感がさらに増してきたような気がします。

もうすぐ夏休み。まずは、近くの世界遺産に出掛けてみませんか。それから、長期的かつ大きな目標として、「日本の世界遺産全制覇」はいかがでしょう。今後も登録遺産が増えていくと思いますので、達成はかなり難しいかもしれませんが、プランを考えるだけでも楽しいこと受け合いです。

地理や歴史に自信がある人は、『世界遺産検定』（主催…NPO法人世界遺産アカデミー）にトライしてみてください。ただし、出題対象は全世界で、4級でも「日本の世界遺産17件＋世界の有名な遺産27件」となっていますから、世界を網羅する知識が必要になってきます。これを機に、いっそ、世界遺産マイスターを目指しませんか。

【参考資料・出版】

『日本の世界遺産ビジュアル版オールガイド』

(マイツ出版)

『世界遺産年報2014』(朝日新聞出版)

文化遺産オンライン(文化庁ポータルサイト)

青森県庁ホームページ

姫路市ホームページ

屋久杉自然館ホームページ

小笠原村役場ホームページ

リコー三愛グループカルチャーセンター講演録

「知って楽しむ世界遺産」

(世界遺産アカデミー認定講師 真船千秋)

イラスト・すぎうらサイキ